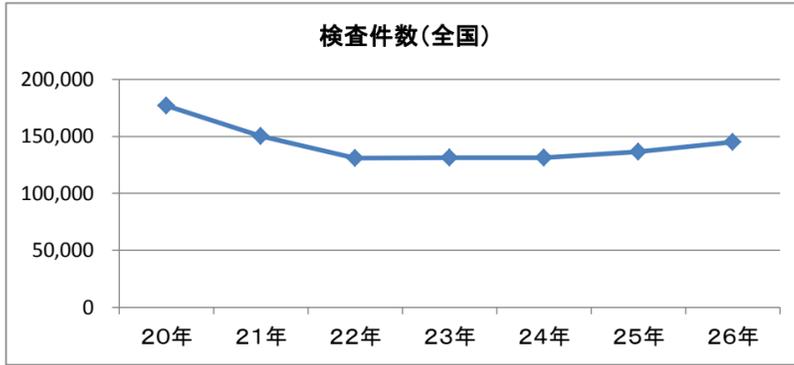
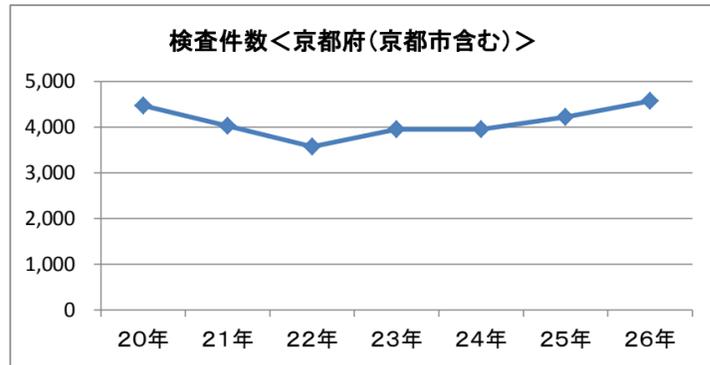


## 【HIV検査件数推移】

	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年
京都府 (京都市含む)	4,469	4,032	3,578	3,951	3,954	4,219	4,574
全国	177,156	150,252	130,930	131,243	131,235	136,400	145,048

検査件数は平成21年から減少傾向が続いたが、平成23年以降は増加傾向

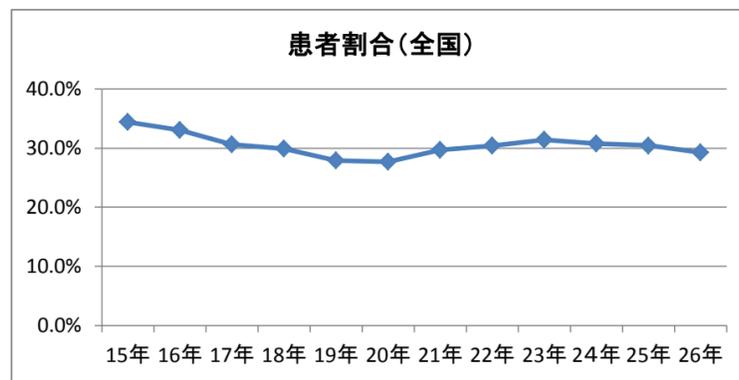
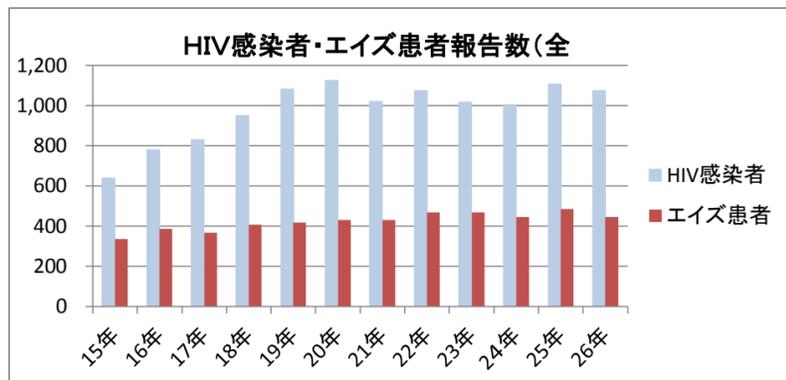


## 【新規エイズ患者・新規HIV感染者年次推移】

〈全国〉

	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年
HIV感染者	640	780	832	952	1,082	1,126	1,021	1,075	1,019	1,001	1,106	1,075
エイズ患者	336	385	367	406	418	431	431	469	467	445	484	445
計	976	1,165	1,199	1,358	1,500	1,557	1,452	1,544	1,486	1,446	1,590	1,520
患者割合	34.4%	33.0%	30.6%	29.9%	27.9%	27.7%	29.7%	30.4%	31.4%	30.8%	30.4%	29.3%

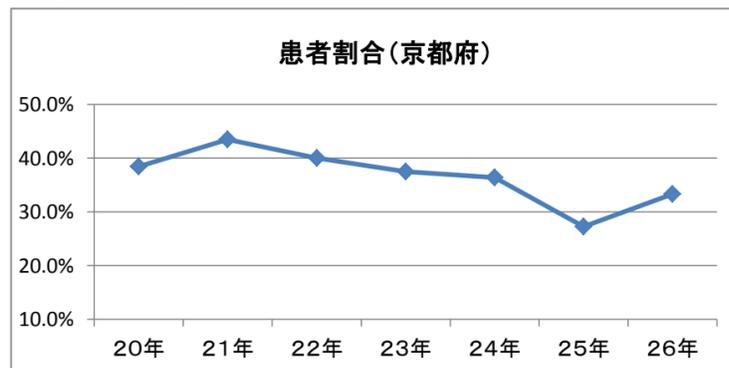
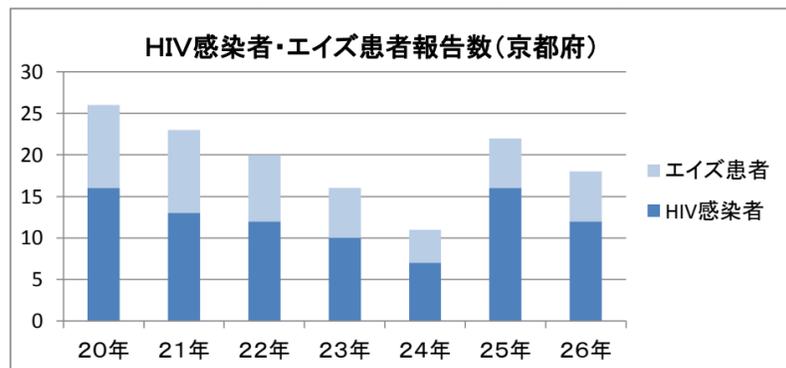
※平成26年は速報値



〈京都府〉

	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年
HIV感染者	16	13	12	10	7	16	12
エイズ患者	10	10	8	6	4	6	6
計	26	23	20	16	11	22	18
患者割合	38.5%	43.5%	40.0%	37.5%	36.4%	27.3%	33%

受診時にエイズを発症している患者の割合は、30%前後で推移



京都府内医療機関からの報告件数は近年減少傾向が続いていたが、25年に倍増

受診時にエイズを発症している患者の割合は全国平均より高い傾向

※ヒトはHIVというウイルスに感染すると免疫力が徐々に低下し、本来なら自分の力でおさえることのできる病気を発症(エイズ発症)します。

※しかし、HIVの感染を早期に発見し治療を行うことで、日常の生活や仕事を続けることができます。